アジア・ハイ・イールド社債に注目する3つの理由

2014年6月23日

情報提供資料

Point①　相対的に高い利回りと、堅調なパフォーマンス

- アジア・ハイ・イールド社債の利回りは相対的に高く、年初来も良好なパフォーマンスを創出しています。

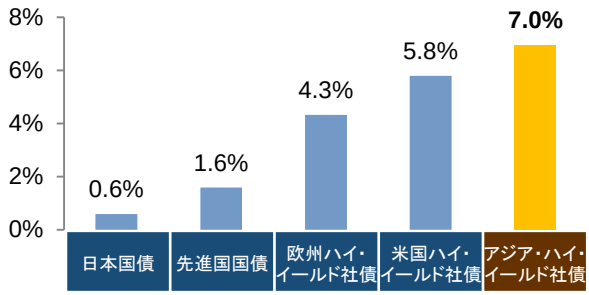
Point②　低水準にあるデフォルト率

- アジア債券市場のデフォルト率は相対的に低く、2014年もこの傾向は継続すると予想されています。

Point③　エマージング債券ファンドへの資金回帰の流れ(アジア市場も恩恵を期待)

- 日本では依然として低調であるものの、世界的にはエマージング債券ファンドへの資金流入が見られています。

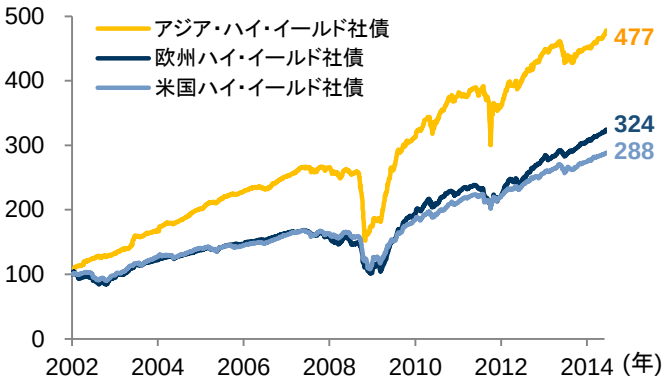
Point①　各セクター利回り比較



	日本国債	先進国国債	欧州ハイ・イールド社債	米国ハイ・イールド社債	アジア・ハイ・イールド社債
平均格付	AA-	AA	BB-	B+	**B-**
デュレーション	8.5年	6.2年	3.9年	4.1年	**3.5年**

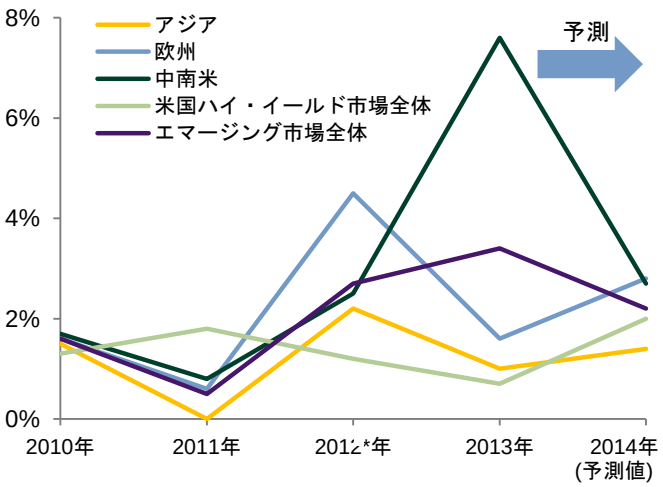
出所：JPモルガン、バークレイズ、シティ　時点：2014年5月末

地域別ハイ・イールド社債パフォーマンス(米ドルベース)



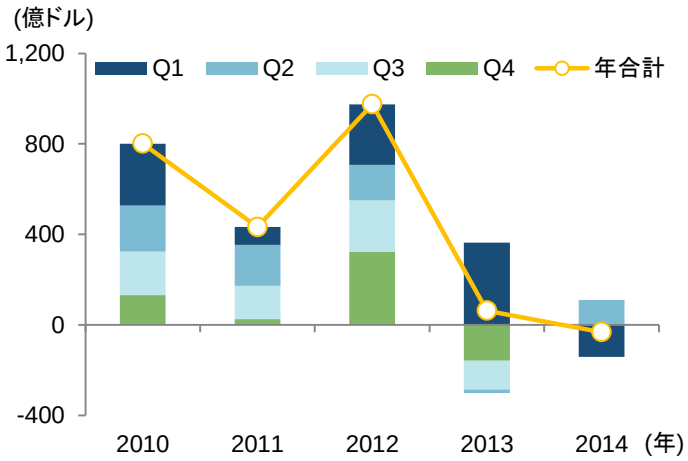
出所：JPモルガン、バークレイズ
期間：2001年12月末～2014年5月末(2001年12月末を100として指数化)

Point②　各市場におけるデフォルト率の推移



出所：JPモルガン　期間：2010年~2014年(2014年は予測値)

Point③　エマージング債券ファンド　資金純流出入額



出所：JPモルガン
期間：2010年1月~2014年5月末(2014年Q2は5月末までのデータ)

日本国債：シティ日本国債インデックス、先進国国債：シティ世界国債(除く日本)インデックス、欧州ハイ・イールド社債：バークレイズ欧州ハイ・イールド社債インデックス、米国ハイ・イールド社債：バークレイズ米国ハイ・イールド社債インデックス、アジア・ハイ・イールド社債：JPモルガンCEMBIブロード・ダイバーシファイド(アジア・ハイ・イールド部分)
上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。
© 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.　<131837.OTHER.MED.OTU>

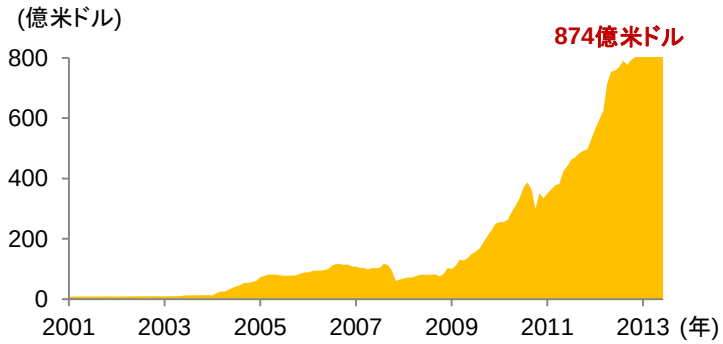
アジア・ハイ・イールド社債に注目する3つの理由

2014年6月23日

情報提供資料

拡大傾向にある市場規模、魅力的なスプレッド水準

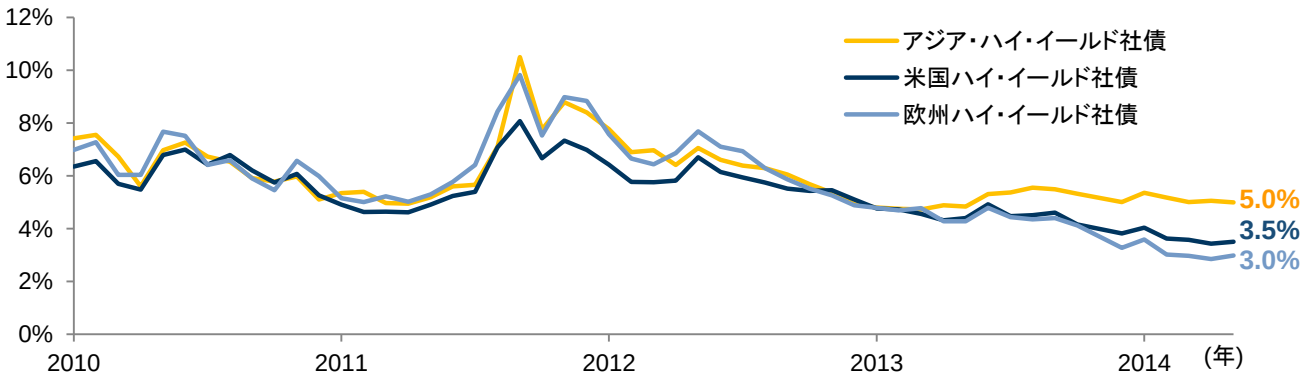
市場規模



	アジア ハイ・イールド 債券	米国 ハイ・イールド 債券	欧州 ハイ・イールド 債券
時価総額	**874億米ドル**	1兆3,412億米ドル	4,504億米ドル
銘柄数	**167**	2,164	653

出所：JPモルガン、バークレイズ　期間：2001年12月末～2014年5月末

スプレッド



出所：JPモルガン、バークレイズ　期間：2010年1月末～2014年5月末

アジア・ハイ・イールド社債市場の見通し

アジア・ハイ・イールド市場については強気の見通し

- アジア・ハイ・イールド市場のファンダメンタルズは良好で、アジア地域や米国経済の回復が鮮明になるにつれて、同市場のスプレッドは縮小する可能性が高いと考えています。
- 流動性の改善に加えて発行体企業の財政基盤が強固であることや、当面は償還を迎える銘柄が限られていることなどから、短期的にはデフォルト率は予想の範囲内にとどまると見ています。

アジア通貨見通し

- **インド・ルピー**：インドにおける選挙結果は、資本流入を加速させ成長率を底上げする可能性があり、ルピーに対する更なる支援材料になるとみています。
- **インドネシア・ルピア**：経常収支の赤字幅が縮小しつつあることに対して、市場が過大評価していると見ています。また、資源の主要輸出先である中国の景況感が悪化した場合、弱含む可能性があることも懸念材料です。
- **韓国ウォン**：好調な輸出を背景に、足元の貿易黒字幅が拡大傾向にあることはウォンにとってプラス材料です。

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。
© 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.　<131837.OTHER.MED.OTU>